報道各位

2018年11月20日

住友不動産株式会社

福岡県の東京拠点「ふくおか会館」跡地の有効活用事業 「住友不動産ふくおか半蔵門ビル」 竣工

- 民間アイデアを採用した福岡県による"県初のアンテナレストラン"も開設 -

住友不動産株式会社は、この度、渡辺地所株式会社、株式会社西日本新聞社と共同(以下「WSN グループ」という)で、半蔵濠の向い、英国大使館隣地に位置する東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅徒歩 3 分の一等地において開発を進めておりました地上 7 階、地下 1 階建て、総延床面積約 11,670 ㎡の最新鋭スペックを備えたオフィスビル「住友不動産ふくおか半蔵門ビル」が竣工しましたのでお知らせします。

都心の一等地、昨今の旺盛なオフィス需要により入居テナントは既に約9割が内定済み、高稼働でのスタートとなりました。



<「住友不動産ふくおか半蔵門ビル」外観写真>

本事業は、福岡県が東京の拠点として千代田区麹町に設けていた「旧ふくおか会館」の跡地有効活用事業に位置付けられています。

県により、定期借地方式による民間事業者のノウハウを活用した提案公募が実施されました。WSNグループは、都心の主要なビジネスエリアという立地を考慮しオフィスビルを軸としながら、福岡県の新たな情報発信機能を設ける提案により、事業者選定されています。

◆"福岡県初のアンテナレストラン"「福扇華(ふくおか)」が当ビル1階にて開業!



<「福扇華」ファサード写真>

本物件の1階に開設予定の福岡県初となるアン テナレストラン「福扇華」は、2018 年 11 月 21 日(水)に開業します。

福岡県ならではの「食」をはじめ県産農林水産物や、観光、伝統文化など様々な県の魅力を発信する拠点として運営されます。"新形態での情報発信拠点"を加えることにより、再入居する東京事務所が以前より行ってきた物産展示・PR コーナーと共に、東京における情報発信が加速されます。

■県の資産を有効活用、"宿泊所"から"情報発信拠点"へ

「旧ふくおか会館」は、皇居の半蔵濠に面し、 北隣りには英国大使館のある格式高い立地に所在 していました。1950年に東京事務所の用地として 福岡県が取得、1979年に建替えられ、地上4階、 地下1階、計84室の県民利用を主としたホテルが 開業され、東京事務所と共に約36年に渡って多く の方々に利用されてきました。

しかし、老朽化が進んだことを理由に 2015 年 に閉鎖、宿泊施設としての役目を終え、新たな有 効活用として提案公募が実施されました。



<旧ふくおか会館の北側外観>

住友不動産株式会社を代表とする WSN グループは、主要ビジネスエリアという立地を考慮してオフィスビルを基軸とし、従前より東京事務所へ設置されていた PR コーナー機能に加え、さらなる魅力発信拠点となる"「食」を体感するレストラン"の開設を提案しました。県からは、新形態を加えた継続的な情報発信を行うことで、地元活性をより推進できる有効策として評価され選定いただいています。

<福岡県初!アンテナレストラン「福扇華(ふくおか)」の概要>







<提供予定の水炊きや、博多和牛すきやき、店内に装飾する伝統工芸品など>

福岡県は、アンテナショップを含め店舗形式で初めてとなる情報発信拠点を開設します。

店舗は、広さ約270 ㎡、76 席を用意、特徴としては2014年に実施した「福岡県への宿泊旅行の目的アンケート」にて"地元の食"が1位であったことを踏まえ「食」を中心としながら、県産品や特産物を販売するほか、伝統工芸、観光情報、歴史・文化など店内に配し広く県の魅力発信を行う形態としています。

県は、県産農林水産物と県産酒等の加工品を「福岡の食」として外食事業者の方々へ一体的に PR し販売、消費の拡大に取り組んでいます。今後は常設のアンテナレストランにて情報発信活動を加速してファンを 広げたいと考えています。

<「福扇華」4 つの特色>

① 「食」を堪能

福岡を中心に飲食店を展開するトリゼンフーズ株式会社が運営を受託し、水炊きやがめ煮などの郷土料理をはじめ、「博多和牛」、天然真鯛など県産の食材を使用した日本料理や、「あまおう」などの四季折々のフルーツや 八女茶、県産酒など堪能いただける。

② 「匠の技」を体感

内装に県産材(京築ヒノキ)、博多織の額装、八女すだれ、食器に小石原焼など使用、上質な福岡を体感できる。

③ 「県産品」を販売

小石原焼などの伝統工芸品や八女茶などの県産品を店舗にて購入可能。

④ イベントスペースを設置

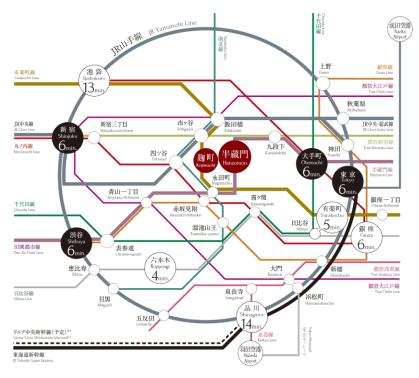
県、市町村の観光・物産プロモーションイベントや企業等の商談会などを開催可能。

【参考:「福扇華」店舗情報】

運営時間:平日 昼 11:30~15:00、夜 17:00~22:00 (土は夜のみ、日は完全予約制) 問合せ先: 03-3288-2170

■「住友不動産ふくおか半蔵門ビル」の概要

<主要な各ビジネスエリアや国内外へマルチにアクセス可能>



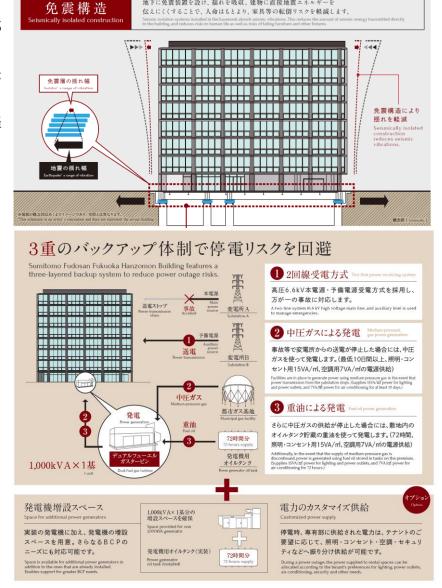
本物件は、東京都心に位置し、 東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅 徒歩3分、東京メトロ有楽町線「麹 町」駅徒歩8分など至近の駅から 東京駅、大手町駅、新宿駅、渋谷 駅といった都内の主要なビジネ スエリアへ 10 分内での移動が可 能です。

また、東京駅や品川駅から新幹 線、徒歩 13 分の「東京ガーデン テラス紀尾井町」から羽田空港、 成田空港行きのリムジンバスが 運行されているなど、国内外各地 へもスムーズな移動が可能とな る高い交通利便性を誇ります。

〈安心·安全な建物構造と BCP 対応強化〉

本物件では、安心安全なオフィ スビル造りを目指し、建物の下部 に免震装置を設けて揺れを吸収。 建物に直接地震エネルギーを伝 えにくくする構造とし、人命はも とより、家具等の転倒リスクも軽 減します。

また、万が一の災害を想定し、 2 回線(本線予備線)受電方式のほ か、中圧ガス、重油の双方を使用 して発電できる非常用発電機(デ ュアルフューエルガズタービン) を採用し、災害などで発電所から の送電がストップした場合、中圧 ガスを使用した最低10日間の発 電、中圧ガス供給が止まった場合 もビルに貯蔵している重油によ り 72 時間分の発電を可能とし た、3 重の電力バックアップ体制 を構築しています。



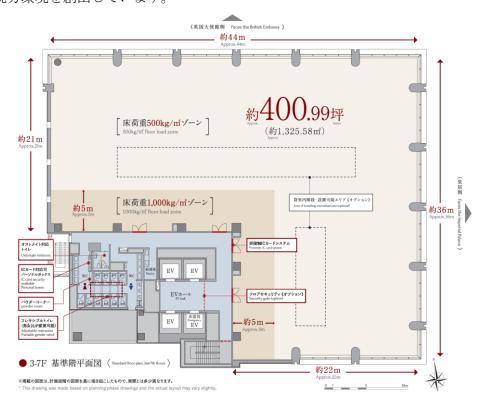
地下に免震装置を設け、揺れを吸収。建物に直接地震エネルギー

く快適なビジネス空間を創出する専有オフィスフロア>

基準階約 1,325 ㎡(約 400 坪)の貸室内は、多様なレイアウトニーズをフレキシブルに対応可能とした整形無柱空間としています。また、天井高さを約 3.0m(窓面 2.8m)+フリーアクセス 10cm とし開放的で明るい空間を確保しています。また、空調はワンフロア 33 ゾーンの部分制御が可能な完全個別空調システムを採用し、細かい範囲まで適温調整を行う事で省エネを実現するなど、最先端の設備、機能を備え、快適な就労環境を創出しています。

この他、中央管理センターに て約 220 棟のビルを 24 時間 365 日体制で管理し、災害など 有事の際にも直接対応可能な 体制を構築しており、安心して 執務に取り組んでいただけま す。

また、共用部から専有部まではエレベータ内やエレベータ ーホールへオプションでセキュリティを設ける事も可能とし、専有部のドアを含め3段階の充実したセキュリティを設ける事もできます。



<住友不動産×福岡県を表現した外観とエントランスホール>



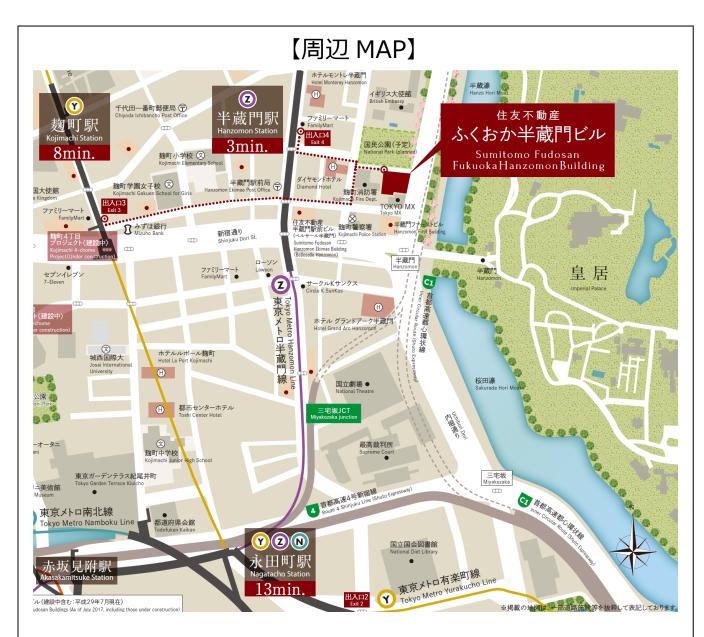
<組子をモチーフとしたオフィスビル外観>

また、迎賓空間となるエントランスホールに も床や天井に大理石などを配し重厚感を演出 すると共に、天高 4m のホールは天井を鏡貼り とすることで、開放的に空間の広がりを創出し ています。さらに、入口正面には、薄く削り出 された福岡県の石を貼り合わせた壁の後ろか ら優しい光を照らすことで上品で格式高い空 間を演出しています。 本物件では、建物の外観並びに内観において住友不動産と福岡県をバランス良く融合しつつ表現しています。

外観においては、住友不動産のオフィスビルでよく 用いる重厚感ある石ばりの外壁に加え、縦のフィンと 横の庇を組み合わせて福岡県の伝統工芸品である組 子をモチーフとしたデザインを採り入れています。

<空間を広げる鏡張りの天井と上品に照らす壁面の明かり>





【建物概要】

·所在地 : 東京都千代田区麹町 1-12-1

・構造:地上7階建て、地下1階

鉄骨造、鉄筋コンクリート造

・敷地面積: 2,469.74 ㎡
・延べ床面積: 11,674.49 ㎡
・総貸室面積: 7,571.54 ㎡
・設計:株式会社日建設計
・施工:前田建設工業株式会社

•竣 工 : 2018年10月末

【交通アクセス】

- ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅徒歩3分、
- ・東京メトロ有楽町線「麹町」駅徒歩8分
- ・東京メト□有楽町線、半蔵門線、南北線 「永田町」駅徒歩 13 分

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先> 住友不動産株式会社 広報部 担当:住友 TEL:03-3346-1042